



カケハシ・プロジェクト（米国） フォローアップ①対面同窓会（ワシントン D.C.）の記録

1. プログラム概要

【目的・概要】

本プログラムは、カケハシ・プロジェクト過去参加者（同窓生）が対面で、同窓組織／同窓生グループの活動支援と日本文化体験をテーマとし、同窓生の活動や JET プログラム、国費外国人留学生制度の紹介、日本酒試飲、折り紙体験を通して、日本への関心を持続させることを目的として、2024 年 10 月 26 日に米国コロンビア特別区（ワシントン D.C.）で実施されました。また同窓生同士の交流や質疑応答を通して、同窓生ネットワークの強化も図りました。

【参加者】米国、日本（2015 年度～2024 年度のカケハシ・プロジェクト参加の同窓生）合計 42 名

（内訳） 米国 41 名（大学生・大学院生 6 名、社会人 35 名）

日本 1 名（大学院生 1 名）

来賓及び関係者 6 名

モーリーン・アンド・マイク・マンズフィールド財団 会長 フランク・ジャヌージ 氏

モーリーン・アンド・マイク・マンズフィールド財団

プログラム・アソシエイトディレクター リア・クラス 氏

ローラシアン協会 日本プログラム・マネージャー ガブリエル・レベック 氏

ジョージタウン大学 教授 デイヴィッド・ウィリアム・ワリス 氏

アジア太平洋米国議会研究所 ジャスミン・ミナト 氏

アジア太平洋米国議会研究所 ティエン・フィン 氏

【訪問地】米国 コロンビア特別区（ワシントン D.C.） 在アメリカ合衆国日本国大使館 旧公邸

【日程】

■ 対面同窓会：2024 年 10 月 26 日（土曜日）

1. 開会 一般財団法人日本国際協力センター（JICE）

【挨拶】在アメリカ合衆国日本国大使館 広報文化班・二等書記官 杉山 祐樹 氏

2. 【プレゼンテーション】カケハシ・プロジェクト同窓生 2 名によるプレゼンテーション

（1）2022 年度カケハシ・プロジェクト同窓生 エンジェル・ブライアント 氏（カケハシ・イノウエ招へい第 3 陣）

（2）2023 年度カケハシ・プロジェクト同窓生 リンゼイ・ミシェル・アミニ 氏（若手研究者招へい第 2 陣）

3. 【プレゼンテーション】在アメリカ合衆国日本国大使館職員 2 名によるプレゼンテーション

（1）「JET プログラム」広報文化班 デヴォン・アルトマン 氏

（2）「国費外国人留学生制度」広報文化班 カール・タン 氏

4. 記念撮影

5. 【アイスブレイクセッション】

6. 【交流】カケハシ同窓生ネットワーキング

【施設見学】旧公邸内見学ツアー

【文化体験】日本酒試飲・折り紙体験

7. 閉会

2. 記録写真



【開会】



【プレゼンテーション】



【アイスブレイクセッション】



【交流】参加者の交流の様子



【施設見学】旧公邸内ツアーの様子



【文化体験】折り紙



【文化体験】日本酒試飲



【記念撮影】

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 米国 社会人

大使館スタッフやカケハシ・プロジェクトの同窓生による JET プログラムや国費外国人留学生制度、カケハシ・プロジェクトでの経験を含む幅広いトピックのスピーチにとっても満足しました。また、茶室を含む旧公邸内ツアーやケータリング、日本酒試飲も楽しむことができました。さらに、他のカケハシ同窓生との交流や日本との継続した関係を共有できたことはとても貴重な体験でした。

◆ 米国 社会人

カケハシ・プログラムは、米国と日本の強固な関係をさらに強化するための素晴らしいプラットフォームであり、私たち全員にとって世界をより良いものにするために重要である。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 在アメリカ合衆国日本国大使館職員

このような同窓会イベントは、将来の日米外交のパートナーとなる可能性のある人材のパイプラインを維持するために重要であると感じています。参加者の多くは異なる業界に属していますが、日本と米国の友好関係を維持するというゴールを共有しています。今後もこのようなイベントを開催し、同窓生が集まり、お互いにつながりを持ち、共通の経験を基に、カケハシ・プロジェクトの新しい世代の参加者に刺激を与える場を提供できることを願っています。

5. 参加者の対外発信（抜粋）

	
2024 年 10 月 26 日（Instagram） カケハシ・プロジェクトは国や文化や海を超えて架け橋を築くことを目的としています。ワシントン D.C. でフレッチャー・スクールの友人を含め、カケハシ同窓生の皆さんと再会できたことは、とても素晴らしいことです。	2024 年 10 月 27 日（Facebook） 日本国大使館旧公邸で催された文化体験・交流イベントに参加しました。最近日本から戻ったばかりというカケハシ同窓生から親切なホストファミリーとのすばらしい経験や温泉、おいしいお寿司についての話を聞くことができました。さらに、JET プログラムや国費外国人留学生制度、マンスフィールド財団フェローシップやその他の選択肢により、今後も日本と継続してつながることができる機会についての話を聞きました。また、日本国大使館職員による旧公邸内ツアーや日本酒試飲、紅茶やおいしいケーキのある懇親会もありました。このような楽しい機会を作ってくれた日本国大使館と JICE スタッフに感謝します！

実施団体：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）